

・令和7年中における少量危険物施設等の事故発生状況について・

札幌市消防局

1 少量危険物施設等の事故発生状況

・施設区分別事故発生状況と流出量の推移

少量危険物施設等の事故は**104件**（火災0件、流出101件）

事故件数は前年から**14件減少**

流出量は、**19,893リットル**で、前年より**4,185リットル増加**

ホームタンクの事故は
全体の約**88%**

	ホームタンク	その他	流出量
令和3年	72	21	16,814
令和4年	132	9	30,020
令和5年	87	8	16,330
令和6年	105	14	15,708
令和7年	91	13	19,893



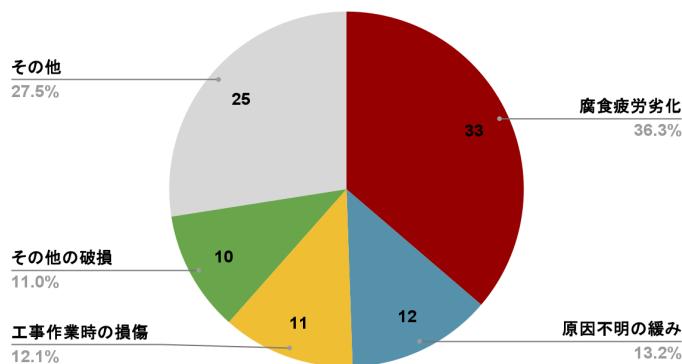
2 ホームタンクに関する事故発生状況

ホームタンクに関する事故は、**91件**

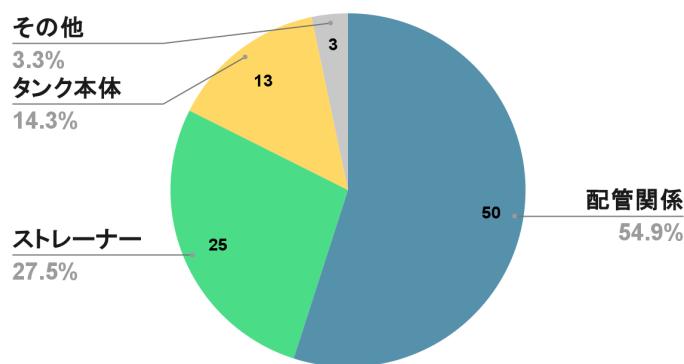
・流出事故原因別件数と発生箇所

流出事故原因是、104件中**腐食劣化等**が**33件**、発生箇所は**配管関係**が**50件**

ホームタンク流出事故の原因別件数

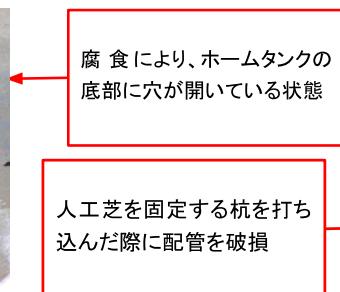
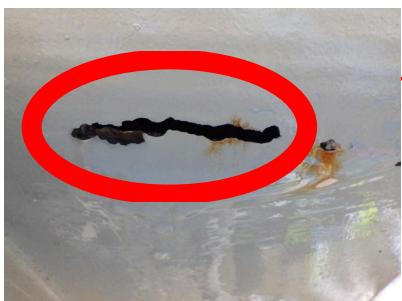


ホームタンク流出事故の発生箇所別件数

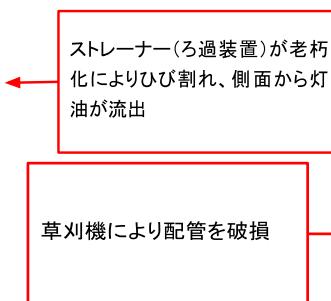
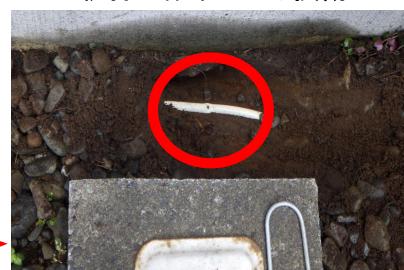


・ 主なホームタンクの流出事故

腐食・経年劣化



杭打ち作業による損傷



3 事故防止対策について

・ 日常点検

腐食劣化等を原因とするホームタンク関連の事故が33件発生しています。その多くが、配管、ストレーナー（ろ過装置）、タンク本体など、目視で確認できる箇所で発生しています。これらの事故は、日常点検を実施することで防止できたものが大半であることから、配管の被覆が剥がれていないか、ストレーナーに亀裂が生じていないかなど、継続的に日常点検を実施し、事故が発生する前に計画的に改修する必要があります。

※ホームタンクの日常点検チェックシートを公式HPに掲載していますのでご利用ください。
https://www.city.sapporo.jp/shobo/yobo/kikenbutsu/documents/hometan_tirasi2020.pdf



・ 配管等の破損による事故防止

工事作業や草刈機により配管が破損し危険物が流出する事故が多く発生しています。ホームタンク等で使用されている配管には、取り回しが容易な被覆銅管が多く使われていますが、鋼管と比較すると外的な衝撃には弱いため、杭打ち作業や草刈り作業の際には、予め配管経路を確認することや配管保護カバーの設置により、事故防止に対する注意が必要です。



・ 灯油が流出した際の応急措置

灯油が流出した疑いのある場合は、速やかに消防機関に通報するとともに、被害を最小限に抑えるために、ホームタンクの開閉バルブを閉止するなど、応急措置を講じることが必要です。